

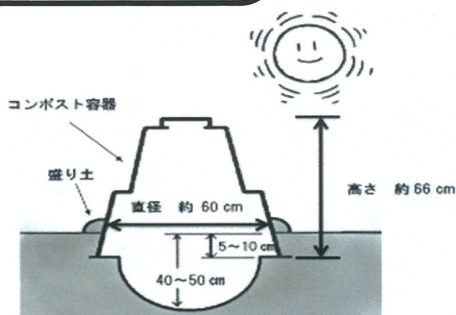
# コンポスト容器の使い方

## コンポスト容器とは

**底がない容器で、土中の微生物の力を借りて、生ごみを発酵・分解させてたい肥化することができるものです。**

### 設置方法

- ① 日当たり・水はけの良い場所に設置します
  - ② 容器を5～10 cmほど埋め込み、盛り土をします  
(風で飛ばないようにするためです)
- ※ 図のように内側を掘るとより長く使用できます。



### 使用方法

- ① **生ゴミの水きりをします**  
〈ポイント〉生ゴミの水分が垂れなくなる程度までしぼります。  
※必ずしっかりと水きりをしてください。悪臭や虫の発生原因になります。
- ② 生ごみを容器に投入します  
〈ポイント〉できるだけ平らになるように投入しましょう。
- ③ **上から土をかぶせます**  
〈ポイント〉生ゴミが完全に隠れるまで、できるだけ乾いた土をかぶせましょう。  
※土の量が充分でないと悪臭や虫の発生原因になります。

### 【アドバイス】

- ・腐った食物やプラスチック類は入れないでください。
  - ・大きな生ごみはできるだけ細かくしましょう。
  - ・落ち葉や草は乾燥させてから投入しましょう。
  - ・時折、スコップなどで中身を混ぜるとたい肥化が進みます。
- ※混ぜた際に表面に生ごみが見えないように土をかぶせてください。

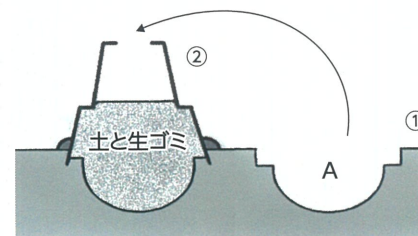


### 【防虫方法】

1. かぶせる土の量を増やす
2. 土の上に石灰をかける
3. 市販の防虫剤を使用する

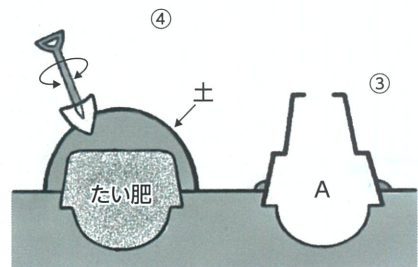
### 移設方法

- ① 移設先 (A) に穴を掘ります
- ② ①で掘った土を容器の中に入れます  
(生ごみの量の目安は容器の約7割です)
- ③ 容器を引き抜いて移設先 (A) に設置します
- ④ 残った生ごみは下図のように土で覆います
- ⑤ 3ヶ月～6ヶ月ほど寝かせて、たい肥が熟したら、ご使用ください。



### 【ポイント】

- ・図のように、月に数回繰り返して空気を送り込みましょう。
  - ・全体が黒っぽくなり、嫌な臭いが無くなったらい肥の完成です。
- ※ たい肥を使用される際は、土に混ぜ込んでご使用ください。
- ・コンポストは2基交互に使用されると大変便利です。  
(容器の移設の必要がありません。)



虫や臭いの発生に気をつけて、周囲の方の迷惑にならないように適切な管理をお願いします。



《問い合わせ先》

宇佐市 生活環境課 リサイクル推進係 ☎ 0978-27-8133